

# 航空公園でドッグファイト

埼玉クラブ対抗リレー大会 2008年2月17日 埼玉県所沢市

木村佳司



とを報じていた。航空公園横にある東京航空交通管制部にトラブルがあったらしい。所沢ではなにかが伝染っているのか？



リレー会場  
野外円形劇場が利用された  
チェンジオーバーはステージ前



次々現われるターゲットを補足しアタック。ジェット機なみの高速ナビゲーション。

2008年2月17日 埼玉県所沢市  
埼玉クラブ対抗リレー

## 公園内で5km コース

冬晴れの埼玉・所沢航空公園で恒例の埼玉リレーが行われた。関東を中心に200名近いオリエンティアが公園内を所狭しと駆け抜けた。

航空公園は東西1000m南北800mの公園。しかも起伏が殆ど無い。そんな中行われるレース速度は当然ながら高速レース。狭い公園、さらに制限箇所を避けながら、1mapでぐるぐると巡る5kmのコースが設定された。



1 走スタート。でも立ち止まっている人が多い。スタートラインの目の前がスタートフラッグ。まずは地図を読んで走る方向を定めることが先決なのだ。

## 気分はドッグファイト

1番コントロール方向に向かって滑走路のような道路が伸びている。アフターバーナー加速でスピードに乗り、道路から森へとテイクオフ！ 1番コントロールに向かって直進だ。そこからはジェットエンジンを軋ませながら上昇気流に乗った気分で公園内のターゲットコントロールを次々に撃破してゆく。パックの他チームランナーはまるで友軍機のようなのだ。

トレインはパーク0とあって、コースはくるくると向きを変えるが、ここで機動力が試される。ターゲットのサーチ、ナビゲーション、補足、撃破を短時間のうちにこなしてゆく。

だが撃墜 マークが20個を超えるころ、エンジンが息をつき始め、スピードがどんどん落ちてゆく。エンジン全開の巡航速度はそう長くは持ちこたえられなかった。とても30分弱のレースとは思えないほど限界いっぱい状態で、第3走者へチェンジオーバー。この短いコースの中で撃墜したコントロールは31もあった。

## 管制システムトラブル

成績処理ではトラブルがあったようだ。速報が出ない。結局成績が判らないまま会場をあとにすることになった。

翌日のラジオで聞いたニュースでは、日本を発着する飛行機に遅れが出たこ

<b>M</b>	1	京葉-M1	1:13:11
	2	チーム・ピミヨメン	1:14:06
	3	ES 関東アングラ	1:14:47
<b>W</b>	1	みちの会0号	1:12:57
	2	ES 関東チャド	1:15:28
	3	人間市 OLC 紅茶	1:19:21
<b>V</b>	1	人間市 OLC 玉露	1:22:53
	2	春日部スペースシア	1:25:39
	3	千葉 OLK-V	1:28:58
<b>MIX</b>	1	京葉-Mix	0:49:28
	2	ES 関東ガボン	0:50:40
	3	筑波大・わがまま	0:50:58
<b>U</b>	1	トータスジュニア	1:15:07
	2	桐朋 IK-D	1:26:07
	3	桐朋 IK-C	1:50:09
<b>FJ</b>	1	武相 C	0:54:13
	2	東京 OLC 松	0:56:09
	3	京葉-FJ	0:57:34

(木村佳司)